

第二のふるさと五城目町

ふるさと五城目会(20期)

山田 文男



私にとつて、五城目町は第二のふるさとです。生まれは北秋田郡上小阿仁村萩形です。冬になると交通手段が閉ざされることから、「陸の孤島」としてニューズにもたびたび取り上げられる山村集落でした。中学一年時の「小阿仁川治水ダム建設」に伴い集落の集団移転となり、我が家は築地町に居を構え五城目町民となりました。

小学生の頃は、親に連れられ徒歩で山道を峠越えし、杉沢からのバスや村からの木材運搬車両に乗せていただいて、一日がかりで中心部まで来たこともありました。駅前前の活気ある賑やかさは、今でも忘れられない光景として記憶しております。町での生活は、一変した環境の中で家族も戸惑いながらも、近所の方々の協力により、山のくらしから町のくらしに慣れていく様子を直近に見ていて、滑稽な出来事も多々ありました。

山好きな父親に連れられ、森山の麓によく山菜採りに行きました。その近辺に「しゃっこい水場」があり、なぜかほっとする場所でもあり、足を運んでおりました。下町通りで開催される朝市、春の雀館公園の桜まつり、夏の盆踊り大会に加え、森山はいつしか「故郷の山」との思いが強くなり、神奈川県に就職し仲間と語る時は欠かせない自慢のひとつになりました。帰省時、八郎瀧駅が迫るなか、汽車の窓から見える森山の雄姿に「帰って来たぞ」と思い、また帰りには「よし頑張ろう」と気持ち奮い立たせてくれる「ありがたき山」の存在になりました。今、その森山の魅力を伝えるべく活動をされている関係各位の皆さまに心より感謝いたします。

同僚に誘われて行ったスキーの魅力に目覚め、冬季になると毎週のようにスキー場めぐりをし、若い頃は大会にも参加しながら県民スキーヤーを北海道やヨーロッパに引率同行しました。その後は、スキー協会のお手伝いを十年程で引退し、会社定年後は川崎市の運動施設管理業務の仕事しながら、ボランティア活動(卓球教室・スキー教室)のお手伝いを日々忙しく楽しみ、「きょうようきょういく」を実践しております。

最後になりましたが、忘れ去る間もなく自然災害の脅威・猛威に悩まされる昨今、ふるさと五城目町も二年続きの大雨災害に見舞われ町民の心情を察するに心悼む次第です。現在も災害復旧・復興に携わる方々、また被災者支援にご尽力いただいている多くの皆さまに感謝を申し上げます。



子どもの頃によく遊んだ小阿仁川

ごじょうめの文芸



【短歌】
動かねば宝石かとも標本の少年の蝶箱に輝く

大川

小熊 正明

雪どけの流れ清らか馬場目川
よどむ水面に鴨の群れ見ゆ

大川

岡本 二方 征捷

挿しおきし椿のくれない見事にて
重ねの色は妖しきまで

八郎瀧町

畑澤 英子

【俳句】

実の中で芽が出た南瓜春待てず

湯ノ又

畑澤タマ子

路地裏も住めば都ぞ下萌ゆる

湯ノ又

本間 富子

八十路坂命炎燃やす春一番

湯ノ又

畑澤トミ子

夫の留守節分の無き我家かな

湯ノ又

松橋テル子

【一川 柳】
朗らかな声が私を振り向かせ

長 町

平川のぶ子

手に残る程の幸せそれでいい

台

いとう百花

その昔友の助言で今がある

畑 町

三浦 春水

作戦のひとつに動かないことも

大川

渡部 光人

集落支援員 じゅっちゃんの ALOHA! 五城目町。



粉雪が青空に映える森山



五城目町の皆さま、Aloha! 集落支援員の八嶋美恵子です。例年より暖かい3月。山菜や冬眠中の動物たちの行方が気になる今日この頃です。

先月のコラムで、この町が魅力的な理由は、「暮らしの導線上で、ちょっとした『対話』が自然と起こる環境がたくさん育まれていること」と書きました。

五城目町のそれぞれの集落や馴染みの場所で育まれてきた関係性が、実はこれからの暮らしを支える大きな鍵になっていくのではないかな、と感じています。

というのも、サービスとしての社会保障、介護、福祉などに限界のある今日、従来のように支援を一方向的に「する側・される側」に分かれるのではなく、「できる人が・できるだけ」支え合う仕組みが、サービスを提供する側にとっても受ける立場になった時にも心地よいのではないのでしょうか。

そんな時「ちょっとした『対話』のできる関係性」が、互いにちょうど良い距離感で支え合う、ケアのひとつの形になるようです。最近気になって読んだ本に、以下のよう

な表現がありました。

「ケアする都市とは、ケアワークが分散された様々なコミュニティのエコシステムであり、高度に専門化した専門家から、特別な知識もなく時間もないが多くの善意を持つ家族、友人、隣人まで、様々なスキルや責任を持つ多くの人びと、グループ、組織が関わっている」(エツィオ,p189)

「向かわなくてはならないのは 人々が能動的になり、共同でき、commonsを生み出したり、互いのため・地球のためのケアを生み出したりする能力を支える。そんなサービスがあるような社会である」(同,p151-152)

このような社会をつくるには、自然に任せるだけではなく、一人ひとりが「ちょっとずつ」意識して互いをケアし合う雰囲気づくりが必要なのだと思います。

わたしは、日々出逢う皆さまの暮らしの知恵やお互いの支え合いの工夫を教えていただいていると、それができそうだと思えてきます。

参考: エツィオ・マンズーニ「こちよい近さがまちを変える ケアとデジタルによる近接のデザイン」(2023)

「キャリアアップ集会II」を実施

2月7日(水)に視聴覚室で開催した「キャリアアップ集会II」に、1・2年生が参加しました。この集会は、1・2年生の進路意識を高めるために企画したもので、進路が決まった3年生による面接の再現を行い、その後、1・2年生による3年生への質問コーナーを設けました。



五城目高校のわだいを定期的にお届けします!



今後の予定

- 3月 1日(金) 卒業証書授与式
- 3月 5日(火) 1次募集学力検査日
- 3月13日(水) 1次募集合格発表日

【短期大学(保育系)合格者】

面接者: 志望動機を教えてください。

3年生: こどもの幸福を願って一人ひとりに寄り添い、個性を引き出す保育士を目指したいと思います。オープンキャンパスに参加し、明るく優しい先生方を見て自分の夢に向かって頑張れると思い志望しました。

面接者: 生徒会に入っていた心境を教えてください。

3年生: 生徒会でいろいろなことに挑戦して、楽しく活動することができました。様々な行事で協力しながら達成することができて良かったと思います。

【地方公務員合格者】

面接者: 志望動機を教えてください。

3年生: 職員として、地域の魅力を生かした観光業や生産業の発展による交流人口の増加を目指し、地域に貢献したいと考え志望しました。

【1・2年生からの質問】

質問者: 就職に向けて2年生からやっておいた方がよいことは何ですか。

3年生: 3年生では面接練習がありますが、自分から先生に練習のお願いに行く必要があります。1回でも面接練習ができないと差がついてしまうので、日頃から提出物などの期限を守るなど、しっかりとした気持ちをもつことが大事です。

五城目高校ホームページ: <http://www.gojome-h.akita-pref.ed.jp/>